

『学校力向上に関する総合実践事業』 コーナー その5

今月は、「社会教育との積極的な連携・社会教育のカリキュラム化」について紹介いたします。
長期休業中の子どもの生活習慣づくり「子ども朝活」についてです。

実施期間：7月27日（月）～29日（水）3日間

参加対象：南が丘小学校 5～6学年

会 場：南が丘小学校 江差町保健センター

ね ら い：・夏季休業中に早起きし、主体的に学習や様々な体験活動に参加することにより、望ましい生活習慣を身に付ける。

・異学年での活動や様々な人との触れ合いを通し、助け合いや感謝の気持ちを育む。

子ども朝活を進めるにあたり、社会教育との連携で、以下のプログラムを企画しました。

○ストレッチタイム（3日間継続）

朝5時前に起きている子、7時過ぎに起きる子と体が動き出す時間はかなり違うようです。同じ時間に集まり、ゆっくり体をストレッチさせながら、体を目覚めさせていきました。

朝8時10分から20分間でしたが、体育専科教諭の江差小学校 笹木先生の指導を受けた後は、とてもリラックスした様子で、1日の活動をスタートさせていきました。

○課題解決タイム（3日間継続）8時30分から10時30分

【児童の振り返りシートより】

- ・学習タイムでいっぱい進んだ。
- ・きちんと集中して取り組めた。

朝のストレッチが終わった後は、夏休みの自分の課題に取り組む時間を設定しました。夏休みに各自が持ってきている課題についてパソコンを使ったり、友達と相談したりと集中して学習を進めていました。

○1日目…スポーツタイム10時30分から12時

笹木先生の指導で、ボールを扱う種目やチームに分かれて取り組む活動を行いました。

【児童の振り返りシートより】

- ・今日、スポーツでボールを班の中で渡したりするとき、スポーツなのにすごく頭を使ったので楽しかったです。
- ・しっぽ取りを一瞬で判断するのが楽しかった。
- ・ボールのパスができてよかった。また今度やりたい。
- ・スポーツをやって楽しかったです。運動ができてよかったです。

ペアや協力して取り組む運動を通して、互いに声を掛け合うことの大切さに気づきました。活動が進むごとに笑顔でいっぱいになりました。



○2日目…さおばかり体験（社会教育課の協力）10時30分から12時

2日目の体験プログラムは、江差町教育委員会社会教育課との連携で実現しました。学芸員の宮原さんの指導で子どもたちとの体験活動を進めました。わりばしと糸と5円玉を使って、さおばかりを作るという内容です。

さおばかり体験が行われた2日目の振り返りシートには、次のようなことが書かれていました。

- ・さおばかり作りはとっても楽しかったです。また、楽しいことが一つ増えました。
- ・さおばかり体験で、わりばしと5円玉とタコ糸だけで重さを量ることができて、すごいと思った。
- ・体験は、隣の人や先生に手伝ってもらいました。水平にならなくて、難しかったです。でも、工作は楽しくて完成したときは、こんな感じなのかなと思った。また今度、お母さんと作りたいです。仕組みが面白かったです。
- ・さおばかり体験も作るのは大変だったけど、作り終わってからは、色々なものを量れて楽しかったです。



○3日目…クッキングタイム（江差町食生活改善推進協議会の協力）9時45分から12時

3日目の体験プログラムは、江差町食生活改善協議会の皆様の協力で実現しました。メニューはピザですが、江差にちなみイカやホタテも出てくるシーフードピザとなっていました。

具材となるイカはやわらかく、ピーマンと違って「切れない!」「切るのが難しい」とつぶやいていましたが、食生活改善協議会の皆様の手ほどきを受けながら、見事に包丁でさばいていきました。

3日目の体験プログラムを終えて、振り返りシートには次のようなことが書かれていました。

- ・今日、ピザをやって楽しかったです。ピザの生地を作ることが大変でした。でも、うまくできました。
- ・ピザをはじめて作って、うまくいったところもあったけど、失敗したところもあった。
- ・はじめてピザを作って、思ったより上手にできました。すごくおいしかったです。



長期休業中に望ましい生活習慣を作り上げていくため、社会教育と連携したプログラムの実施は、振り返りシートにある子どもたちの感想からも成果が見えました。子ども同士の交流が図られ、助け合いの気持ちが育まれた「子ども朝活」は、冬休みにも4日間実施する予定です。ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。